

---

## 2. 自主研究

### 「若者に魅力ある都市創造、都市環境づくりについて」

和歌山大学経済学部

教授 乗杉 澄夫

本研究は平成 11 年度に自主研究「若者に魅力ある都市創造、都市環境づくりについて」として立ち上げられた。とはいえ、作業が本格的に開始されたのは平成 12 年 4 月であり、本報告は、この 1 年間に行われた研究調査活動の結果をまとめたものである。

和歌山県における人口動態の特徴は、総人口が横ばいか若干減少する中で、若者が県外に流出し、高齢者が増加していることにある。特に若者の県外流出は、和歌山県の活力の低下をもたらすだけに、深刻である。その原因として考えられるのは、和歌山県内に高等教育機関（大学）が少なく、とりわけ雇用機会が乏しいことである。したがって、若者の流出を防止し、移入を促進するためには、和歌山県内の雇用機会を増やすことが重要な課題となる。しかし、それだけでは十分とは言えない。若者がいずれの地域に雇用機会を求めるかが残っているからである。その選択には、企業の将来性だけでなく、生活の場としての魅力も作用するはずである。我々は、雇用機会の量や質だけでなく、若者に魅力ある街づくりを図る必要がある。

本研究は、こうした視点から、和歌山大学経済学部在籍する学生を対象にアンケート調査を行い、若者に魅力ある街がどのようなものであり、そのために何が必要であるのかを探ることにした。そして、和歌山市が若者にとって住み良い街なのかどうか、若者が将来どのような所に住みたいと考えているのか、若者のレジャー行動や海洋レジャーへの関心がどのようなものであるのかを調査した。

本研究はまた、海外で魅力ある街づくりを推進している地域を視察し、その経験を参考にして和歌山市の街づくりを目ざすことにした。その一つはニュージーランドのクライストチャーチ市である。同市はガーデン・シティとして世界的に有名であり、最近、和歌山市から「花いっぱい運

---

動指導者」の研修団が派遣された。ここでは、同市フラワーフェスティバル事務局を訪ね、フェスティバルの運営や花を活かした街づくりがどのような行われているかを調査した。もう一つは米国フロリダ州である。同州は、豊かな自然、とりわけ美しい海岸線と温暖な気候に恵まれ、和歌山県とは姉妹提携関係にある。ここでは、海やビーチを積極的に利用している地域を視察し、それらの魅力の引き出し方や活用方法を調査した。